つどい
まなび
つなぐ
発　行
第 15 号
2023.1
若松公民館

若松公民館だより

〒264－0021　千葉市若葉区若松町2117番地の2　電話　043－231－7991
本紙は若松中、小倉小、若松小、若松台小、第 32 地区町内自治会に配布しています。

あけましておめでとうございます。今年度も残り３か月間となり、年度単位で活動している公民館としてはまとめの時期となります。コロナ対策が緩和された関係で、昨年度は計画したもののやむなく中止とした「中高生対象　大学の先生が教える体幹トレーニング基礎講座」、「袋でモミモミ親子そば作り教室」等の講座を実施することができました。また、若松公民館クラブ等連絡協議会が主催する文化祭は昨年は作品展示のみでしたが、今年は「都笑亭出前落語会」、ワークホーム施設たけのこによる「ハンドベルの演奏」、もちろん当館で定期的に活動しているサークルによる実技発表も行い、充実した２日間となりました。

そして、「第１回・第２回ちば講座アワード」（さわやかちば県民プラザ主催）の受賞や、新たなサークルの創設を目指す取り組み等が評価されて、「千葉県教育功労者（社会教育団体の部）※」として当館が表彰されるという喜ばしいこともございました。

最後になりますが、３月までに開催予定の講座をいくつか紹介します。千葉市郷土博物館の天野館長による「千葉氏前史～平将門の乱の世界～（２月９日）」、歴史愛好家の広瀬正一氏による「（仮称）史料で振り返る千葉開府物語（３月５日）」、３月１８日には沖縄三線コンサートを初めて行う予定です。小さなお子さんがいらっしゃる方には、リトミックや健康＆栄養相談会（1/24･2/28･3/14　子育てサークルぴーなっつ主催）も開催されます。また、当館には図書室が併設されており、市の図書館や図書室に収蔵されている本を予約し受け取ることもできます。地域に根差した社会教育施設を目指していますので、お気軽にご利用ください。

2023 若松公民館長　伊藤　直樹

※ 千葉県教育功労者表彰は，昭和 23 年 11 月 1 日の千葉県教育委員会設置を記念して，昭和 25 年から，教育行政・学校保健・芸術文化・社会教育・学校教育の 5 分野について，永年にわたり本県の教育・文化の発展に寄与した個人及び団体の功績を称え実施しています。

詳細は　検索　千葉県教育功労者表彰

若松公民館クラブ等連絡協議会主催

「第 39 回文化祭」開催！

10 月 15 日（土）、林大雄新会長（若松太極拳同好会）**の挨拶で文化祭が開幕しました。文化祭は「日頃の学習の成果を地域に還元する」ことを目的に、若松公民館を利用するサークルの有志からなる「若松公民館クラブ等連絡協議会」が主催するもので、公民館は後援という形でサポートしています。今年は、２日間にわたり６団体**（ラタンの会・泉墨会・遊の会・書楽会・連～水彩画サークル・坂月川愛好会）**が力作を展示し、５団体**（らくらくヨーガ･若松太極拳同好会･若松ギターサークル･若松一翠会・スィーツの会）**が実技発表を行いました。また、若松小･小倉小･若松台小･若松中の紹介ポスターも展示されました。**

チラシの封入作業（9 月）

前号で紹介したように、長く努められてきた役員の皆さまが退かれて初めての文化祭です。志を引き継ぎながらも、「公民館利用者だけでなく、色々な人に来てもらいたい。」という気持ちからカラーチラシを制作し学校や地域に配布したり、ゲストを呼んだりと新しいことにチャレンジする姿に「これからの若松中学校区も明るい！」と職員が励まされる思いでした。

文化祭の開催に尽力された役員の皆様
絵手紙サークル楽々・正乃さん／坂月川愛好会・紳一郎さん／水曜囲碁会・広信さん／泉墨会・敬治さん／体操サークル・博子さん／若松太極拳同好会・大雄さん

5～11月の公民館講座報告

学習の成果を披露「絵本の会による大人のためのお話会」

当館の子育てサークル等でボランティアをしている「絵本の会」（代表 馬場恭子）の会員7人が、絵本や紙芝居を披露しました。「選書が素晴らしかった」、「子どもに読んであげたことを懐かしく思った」と大変好評でした。「絵本の会」は新規メンバーを随時募集中で、来年の6月には、また大人を対象とした会を開催予定です。

紙芝居作家の礪波さんの迫力ある実演。

東日本大震災の語り部から学ぶ

千城台公民館をメイン会場とし、当館を含む若葉区内の3館をオンラインでつないだ防災講座を開催しました。元岩手県釜石市の中学校教諭でいらっしゃった糸日谷美奈子さんの実体験に基づく話に、聴講者も心を打たれる様子が見られました。また「**被災者の心の経過**」に関する解説は、被災後に落ち着いて行動するための予備知識として広く普及したい内容でした。

夏休みの宿題と思い出は若松公民館にお任せ！

毎年恒例の**千葉市科学館出張科学イベント**。今年は28人の小学生が、植物性オイルとハーブティでせっけんを作り、せっけんの歴史や汚れが落ちる原理について学びました。**東京ガス夏休み出張講座「リサイクルして万華鏡を作ろう」**も人気の講座です。道具や材料もキット化し、感染リスクを考えたプログラムに安心して参加を呼びかけることができました。昨年は感染拡大に伴い回数を減らした**「スポチャン教室」**も、例年同様、特別支援学級・学校を対象としたクラスを開くことができました。

中高生を対象とした「大学の先生が教える体幹トレーニング基礎講座」（ちば産学官連携プラットフォーム事業）。齊藤訓英さん（帝京平成大学講師）が目的を意識する必要性を解説しました。

「スクラッチ入門～基礎編～」では、3～6年生の10人が授業にも取り入れられているプログラミングを体験しました。

2年ぶりに計画通り夏休みの講座を開催することができました。感染対策にご理解いただきありがとうございました。

★★★★★★★★★★★★★★

7～8月に開催した水曜囲碁会による**「初心者歓迎！囲碁体験会」**には4人の参加があり、うち1人がサークルに入会されました。千葉市男女共同参画センター共催**「みらいの健康のため今知っておきたいみんなの更年期#」**（10月28日）は、当館で初めての託児付きの講座でした。参加したママからは「近くの公民館でこのような取り組みは嬉しい。」という声があり、公民館に足を運びにくい方にも参加していただきやすい環境づくりに努めていきたいと思います。

継続中 坂月川親子教室 坂生き物教室 6～1月

今年で4年目となる本講座に12組の親子が参加しました。当館から歩いて15分の距離にあるビオトープの保全や普及を主な活動とする愛好会の全面的な支援のもと、オリエンテーションを行いました。夏休みの観察会（愛好会単独事業）は、「水生生物調査」をはじめ、どの会も大盛況だったと聞いています。8月27日のまとめの会は、昨年同様に館と参加者の自宅をつないだオンラインでの開催となりました。作品を上手に画面に映しながら発表する姿に、「わが子の別の一面を見られた。」と感激している保護者もいました。作品の一部は、現在廊下に展示中です。（展示替あり）

若松公民館クラブ等連絡協議会の役員の皆さまは、文化祭終了後も定期的に会議を開き、よりよい活動の仕方を模索されています。「息切れしてしまうのではないか。」と心配になる一方、他の公民館の同僚に「役員の皆さんがすごいんです。」と自慢しています。公民館活動の充実が、地域の活性化につながると信じて汗を流されている姿に本当に頭が下がる思いです。この気持ちが公民館や地域全体に広がることを願います。（中村）